



平成28年2月19日

## 竹久夢二についての国際シンポジウムを開催

岡山大学文学部（企画：鐸木道剛教授）は2016年3月21日、夢二国際シンポジウム「竹久夢二研究の現在：世界に向けて」を本学五十周年記念館で行います。

岡山生まれの詩人・画家・デザイナーとして名高い竹久夢二（1884-1934）が、生活のなかの美を目指す「港屋絵草紙店」を開店したのが1914年。それから今年で100（+2）年です。ようやく夢二の詩歌と画業の意味は学問的な研究対象になりつつあり、昨年春には欧米で初めて、アムステルダムにて夢二展が開催されました。これを受けて本シンポジウムでは、100年を経て見えてくる夢二作品を、近世美術とデザインの広い視野から、そして永遠に至る「芸術」ではなく身近な美しいものに注目した夢二作品の現代的意義を日本と世界に向けて発信します。

<日 時> 2016年3月21日（月・振替休日）午後1時～6時

<場 所> 岡山大学五十周年記念館金光ホール

### <背 景>

岡山の地は、雪舟以来、近代でも数多くの画家を輩出していますが、なかでも竹久夢二は最も有名です。夢二研究は美術・文学・政治思想、キリスト教と多岐に渡り、またあまりにも人気作家であるため学術的な研究は遅れていました。没後80年を越えて、夢二もようやく歴史的学術的な研究対象となってきました。

夢二国際シンポジウムは、本学文学部主催です。本学としても夢二研究を支える責務があると考え、美術史研究室と文学部が企画しました。

### <見込まれる成果>

夢二作品の最大最高のコレクションは、岡山の両備グループが支える夢二郷土美術館です。このシンポジウムは、時宜にあった企画であり、本学の重要な地域貢献と考えます。

### <お問い合わせ>

岡山大学大学院社会文化科学研究科（文）

教授 鐸木 道剛

（電話番号）086-251-7399

（FAX番号）086-294-3051